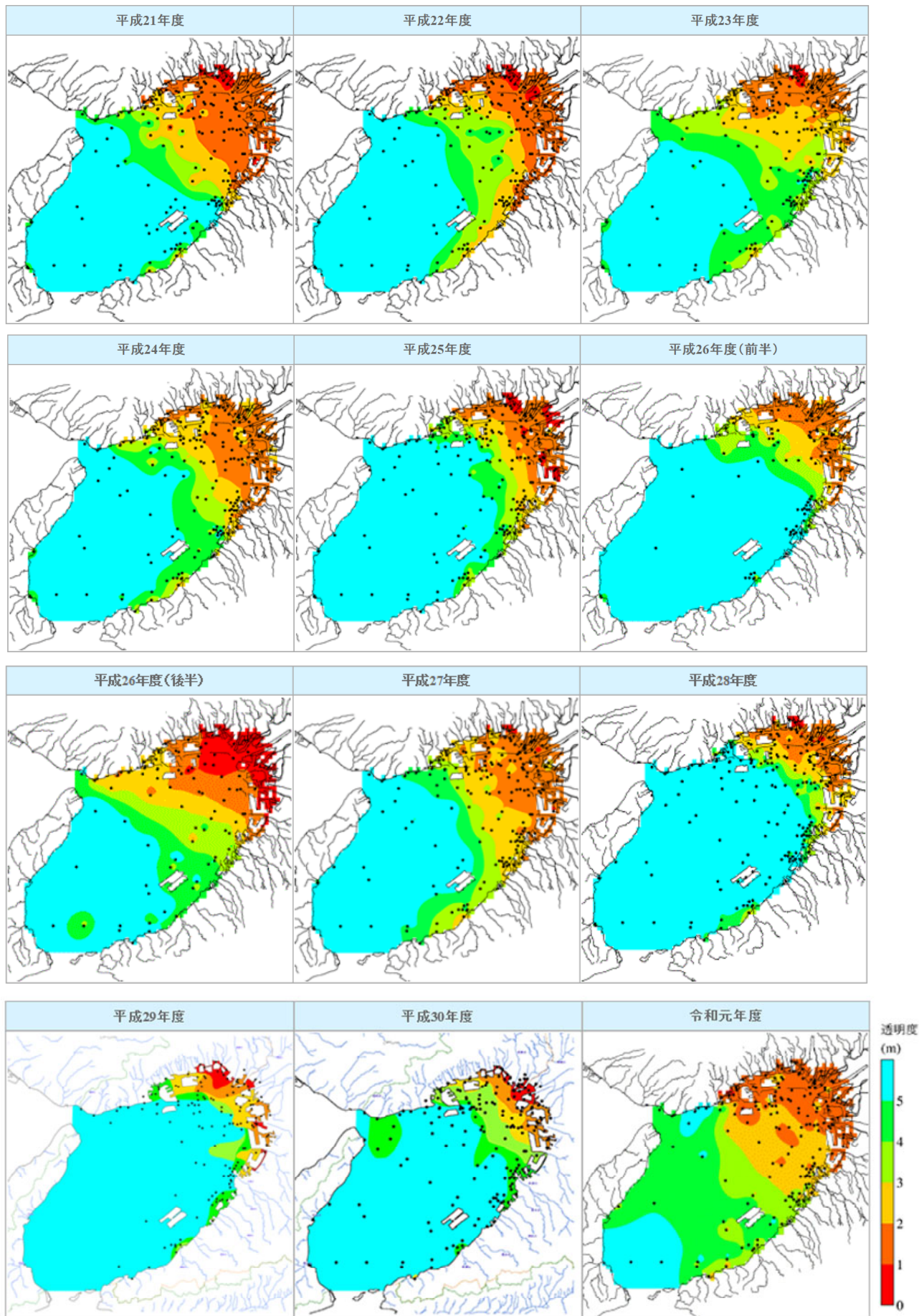


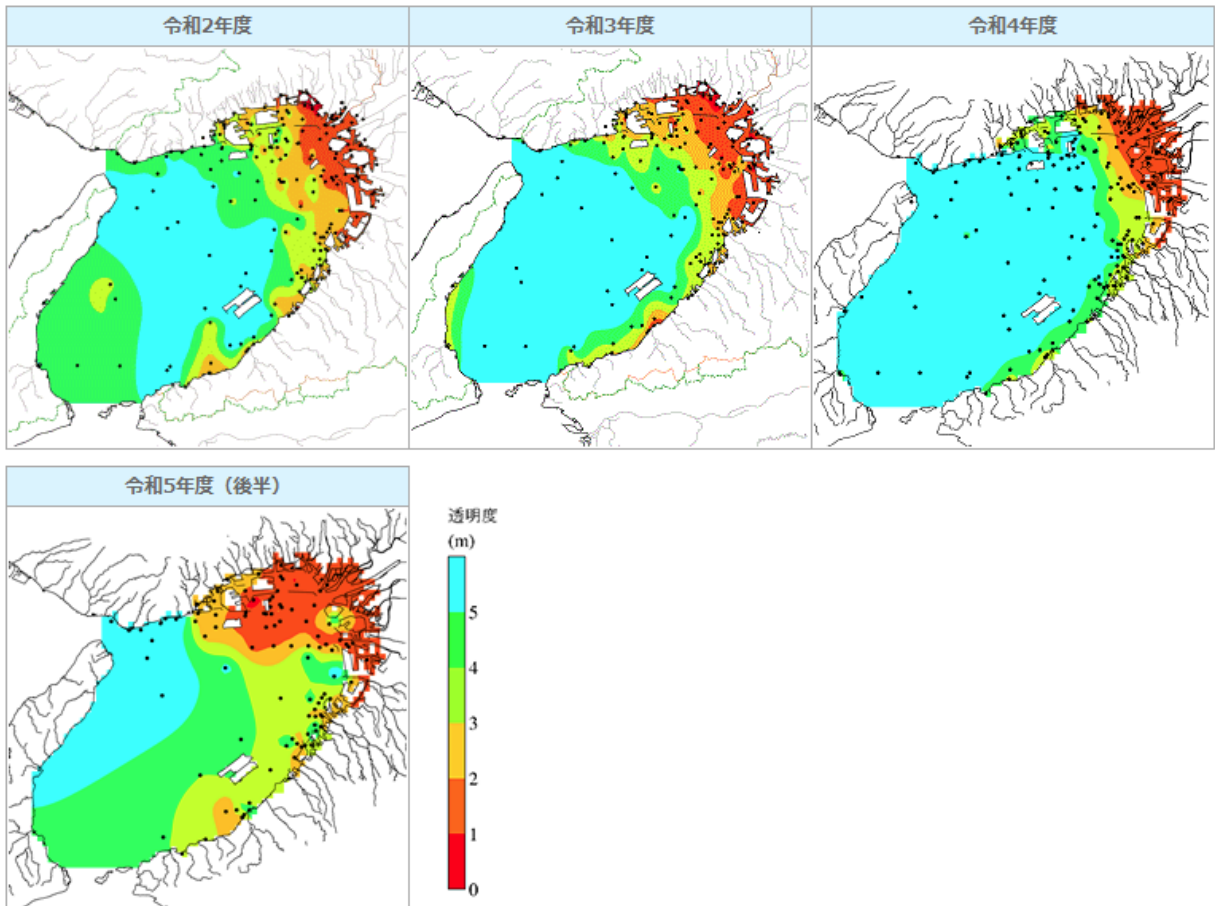
透明度の分布図・経年変化図

透明度は、淀川や大和川などの河川が流入する大阪湾の北東側で低く、西側で高い傾向がみられます。本調査結果は、夏季1回の結果であり、調査実施時の気象・海象の状況による影響を受けています。透明度は、市民へのわかりやすい指標として平成21年度から測定を開始しました。

II 水平分布図



経年変化図



経年変化図

